

対象機種

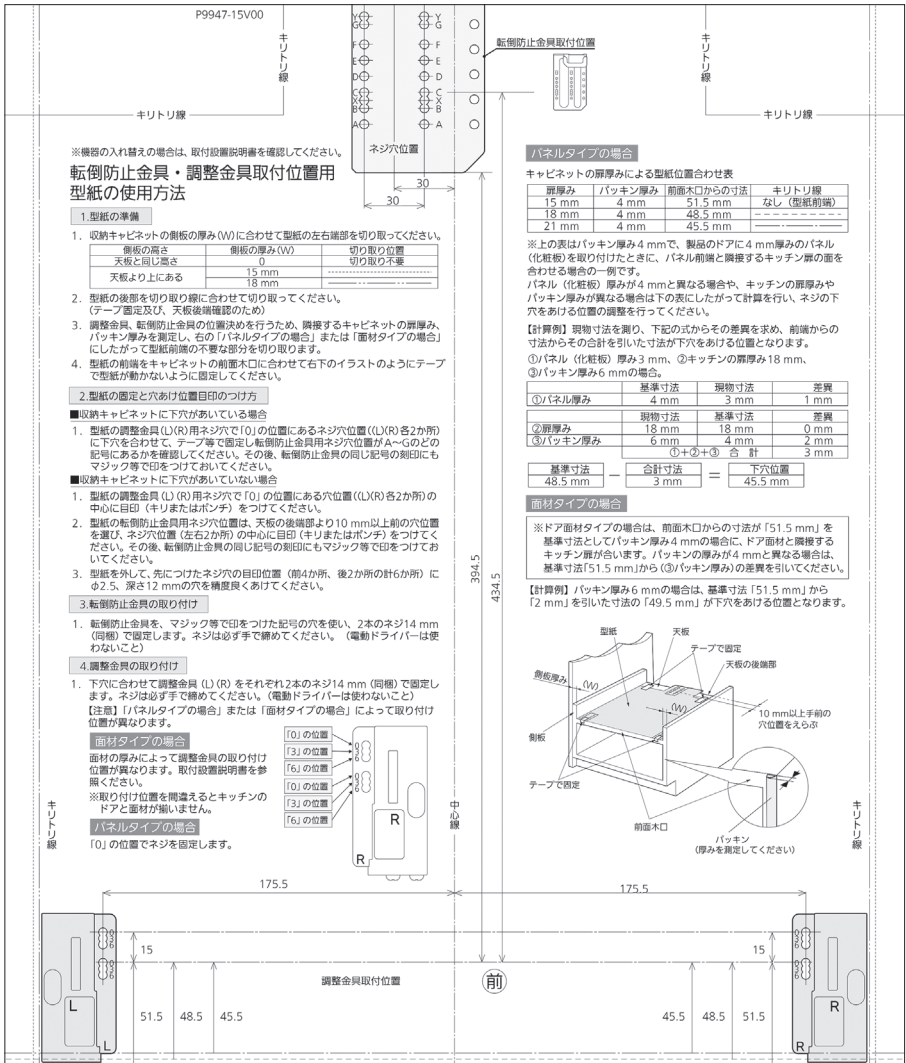
- 9シリーズ ミドルタイプ
 - 9Plus シリーズ /9 シリーズ ディープタイプ（台枠〈脚ユニット〉が同梱されていない場合）
- ※ 通称「脚なしタイプ」で、機種品番は下記のパナソニック品番とは異なります。

【注意】

パナソニック品番のディープタイプ（NP-45KD9AP、45MD9WP、45MD9SP、45KD9A、45KD9W、45MD9W、45MD9S、45VD9S、45RD9S、45RD9K）は、台枠付きのため対応していません。

部品概要

キャビネット天板にセロテープなどで固定することで、転倒防止金具と調整金具の取付位置を容易に割り出せます。



※ 図は NP-45MS9 用の型紙です。

使用目的

パナソニック食器洗い乾燥機（9Plus シリーズ /9 シリーズ）を設置する際、隣接キャビネットの前面と本機の前面がフラットになるように、転倒防止金具と調整金具の位置を正確に割り出し、下穴をあける位置を確定するために使用します。

索引

本書では型紙に記されている内容と同じ項目を、同じ順番で補足説明しております。
それぞれ下記のページを参照ください。

1 型紙の準備

P.03

- (1) 型紙左右の切り取り P.04-(1)
- (2) 型紙後部の切り取り P.04-(2)
- (3) 型紙前端の切り取り P.04-(3)
- A パネルタイプの場合 P.05-A
 - パッキン厚み、パネル厚みが 4 mm の場合 P.05-A- ①
 - パッキン厚み、パネル厚みが 4 mm 以外の場合 P.05-A- ②
- B 面材タイプの場合 P.07-B

2 型紙の固定と穴あけ位置目印のつけ方

P.08

- A 収納キャビネットに下穴があいている場合 P.08-A
- B 収納キャビネットに下穴があいていない場合 P.09-B

3 転倒防止金具の取り付け

P.10

4 調整金具の取り付け

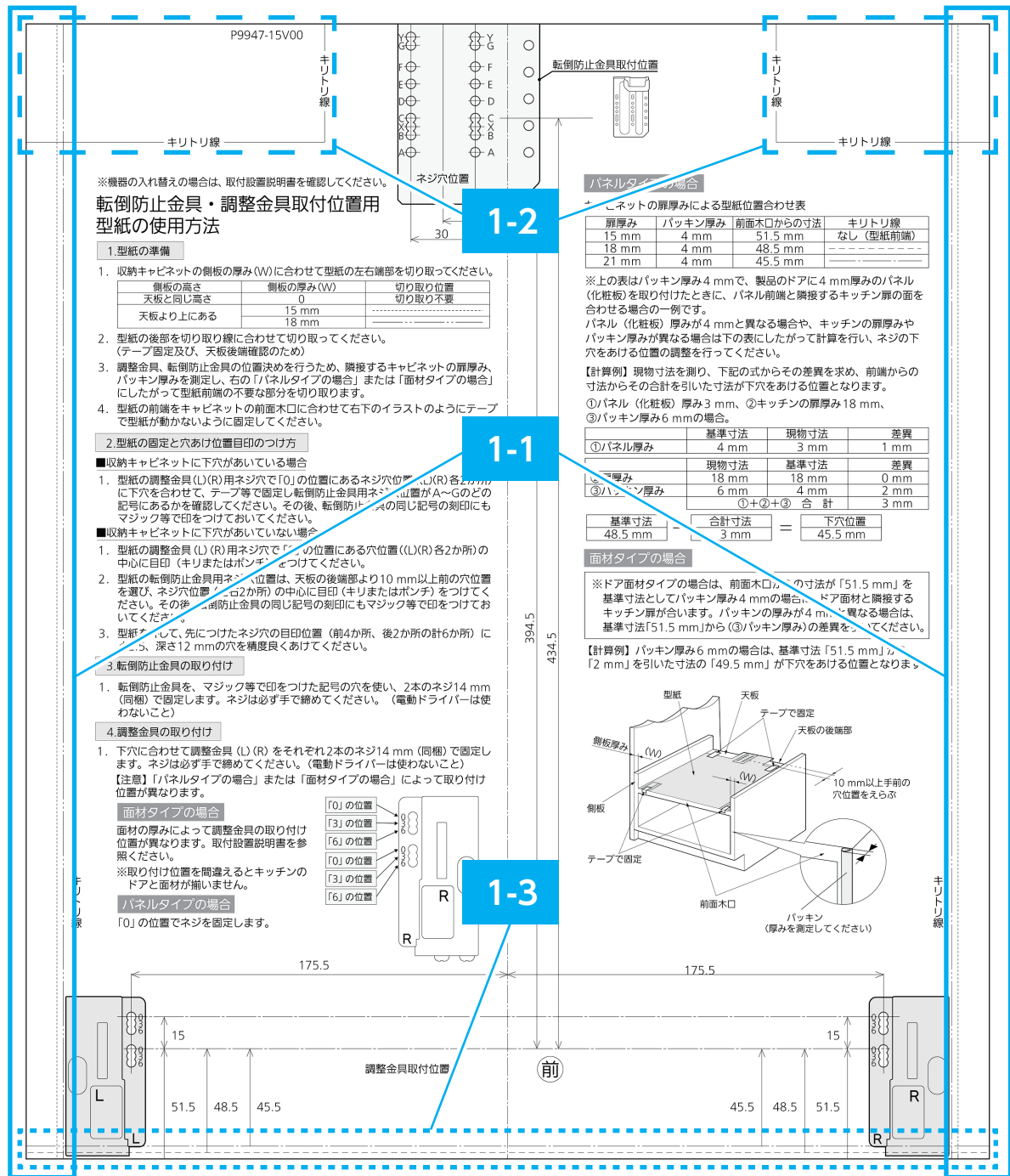
P.11

作業手順

1 型紙の準備

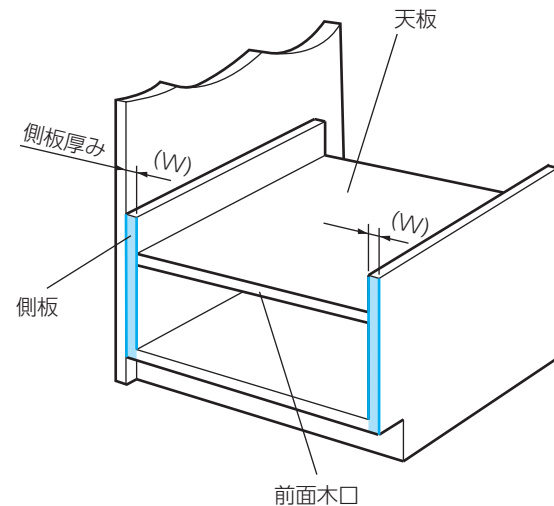
現場の状況に応じて、型紙の端部を切り取る必要があります。以下の手順で型紙を準備し、天板に固定してください。
 なお、本編では下記ミドルタイプの場合を説明しております。

【図 1】



※ 図は NP-45MS9 のものです。
 ※ 上が後(奥)、下が前(手前) です。

【図 2】

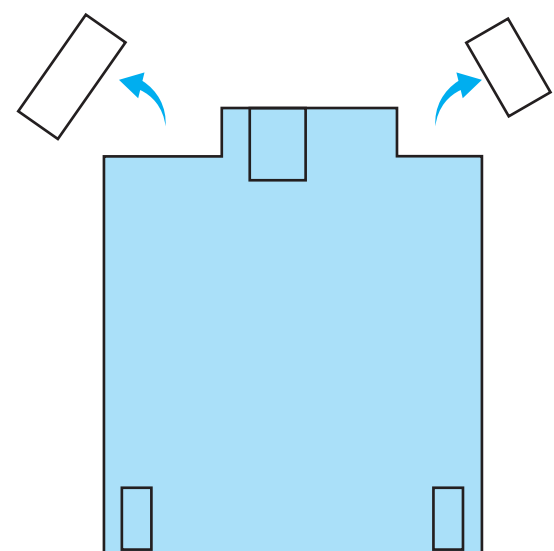


(1) 収納キャビネットの側板の厚み(W) (【図 2】)に応じて、型紙の左右端部 (【図 1】の 1-1) を【表 1】の切取位置で切り取ってください。

【表 1】

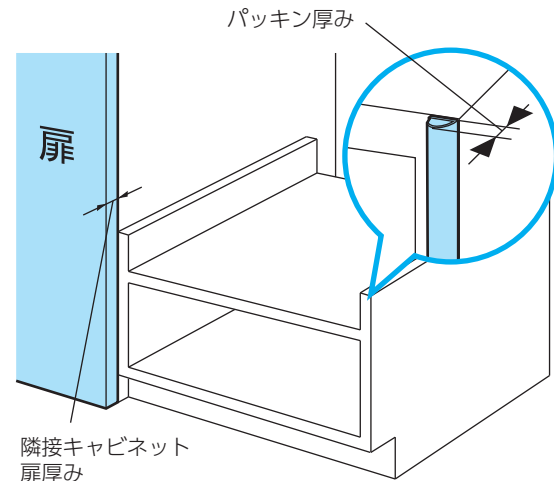
側板の高さ	側板の厚み (W)	切取位置
天板と同じ高さ	0	左右は切らない
天板より上にある	15mm	----- 外側の破線
	18mm	----- 内側の破線

【図 3】



(2) テープ固定と天板後端確認のため、型紙の後部をキリトリ線 (【図 1】の 1-2) に合わせて切り取ってください。
 【図 3】

【図 4】



(3) 現場の状況に応じて型紙前部の不要部分 (【図 1】の 1-3) を切り取る必要があります。

- 隣接キャビネットの扉厚みとパッキン厚みを測定します。 【図 4】
- 次のそれぞれの場合を参照してください。
 - A パネルタイプの場合 P.05
 - B 面材タイプの場合 P.07
 - キャビネット天板に下穴があいている場合 P.08-A

【注意】

本機と隣接キャビネットの面合わせに必要な調整です。調整金具では前後 3mm までの調整が可能です。型紙での調整に不備があると、その範囲では面合わせができない場合があります。必ず、この時点での位置合わせを徹底してください。

A パネルタイプの場合

① パッキン厚みとパネル厚みが共に4mmの場合

隣接キャビネットの扉厚みに応じて、次の【表 2】 のとおりの切取位置で型紙前端を切り取ってください。

【表 2】

パッキン厚みおよび パネル厚み	隣接キャビネットの 扉厚み	下穴位置※	切取位置
4mm	15mm	51.5mm	前端は切らない
	18mm	48.5mm	----- 手前側の破線
	21mm	45.5mm	----- 奥側の破線

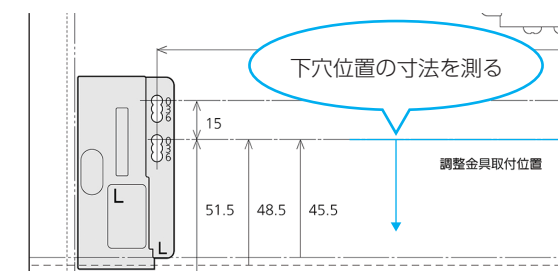
※ 下穴位置は、調整金具取付位置から前面木口までの距離です。

② パネル厚み、パッキン厚みのどちらかが4mmではない場合

切取位置を計算で導きます。次の a. → b. の手順で型紙前端を切り取ってください。

a. 型紙に記載された計算式の計算結果(下穴位置) を、次頁の【表 3】【表 4】【表 5】 にまとめております。隣接キャビネットの扉厚みに応じた表を参照いただき、パッキン厚みとパネル厚みに応じた下穴位置を確認してください。

【図 5】



※ イラストは型紙の左下部分です。斜めにならないよう、右下部分でも同じように測りましょう。

b. a. で確認した下穴位置の寸法を、型紙の「調整金具取付位置」から手前方向に測った位置が切取位置となります。
..... 【図 5】

【注意】

- ・ 下穴位置 51.5 mmの場合は、型紙の前端は切り取りません。本体設置後、調整金具の前後調整で面合わせをしてください。
- ・ 斜めにならないよう左右で測り、左右端に対して垂直に切り取ってください。型紙の前端をカットした場合も「調整金具」の取付位置は変わりません。

【表 3】 隣接キャビネットの扉厚みが 15mm の場合の下穴位置 (mm)

		パッキン厚み				
		2	3	4	5	6
パネル厚み	パネル無し	49.5	48.5	47.5	46.5	45.5
	1	50.5	49.5	48.5	47.5	46.5
	2	51.5	50.5	49.5	48.5	47.5
	3	51.5	51.5	50.5	49.5	48.5
	4	51.5	51.5	51.5	50.5	49.5
	5	51.5	51.5	51.5	51.5	50.5

※ 結果が□に該当する場合は「調整金具」で調整をお願いいたします。

【表 4】 隣接キャビネットの扉厚みが 18mm の場合の下穴位置 (mm)

		パッキン厚み				
		2	3	4	5	6
パネル厚み	パネル無し	46.5	45.5	44.5	43.5	42.5
	1	47.5	46.5	45.5	44.5	43.5
	2	48.5	47.5	46.5	45.5	44.5
	3	49.5	48.5	47.5	46.5	45.5
	4	50.5	49.5	48.5	47.5	46.5
	5	51.5	50.5	49.5	48.5	47.5

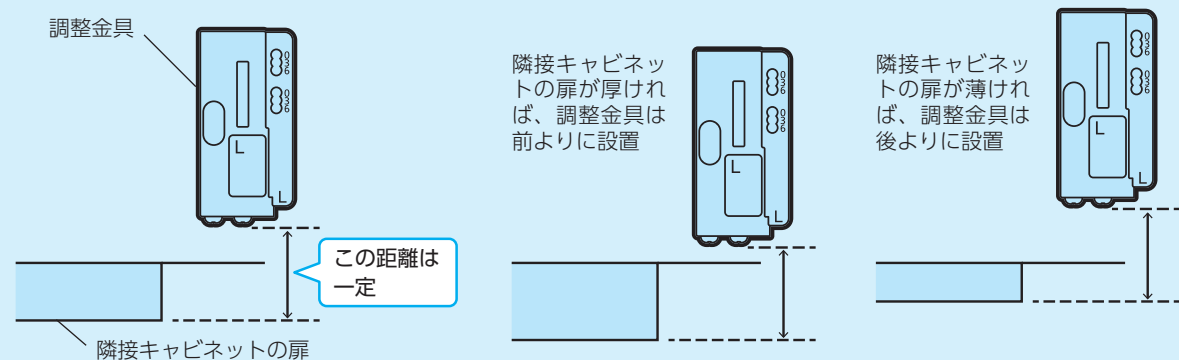
【表 5】 隣接キャビネットの扉厚みが 21mm の場合の下穴位置 (mm)

		パッキン厚み				
		2	3	4	5	6
パネル厚み	パネル無し	43.5	42.5	41.5	40.5	39.5
	1	44.5	43.5	42.5	41.5	40.5
	2	45.5	44.5	43.5	42.5	41.5
	3	46.5	45.5	44.5	43.5	42.5
	4	47.5	46.5	45.5	44.5	43.5
	5	48.5	47.5	46.5	45.5	44.5

【参考】キッチンの状況と調整金具の位置関係について

① 隣接キャビネットの扉の厚みと調整金具の位置関係のイメージ

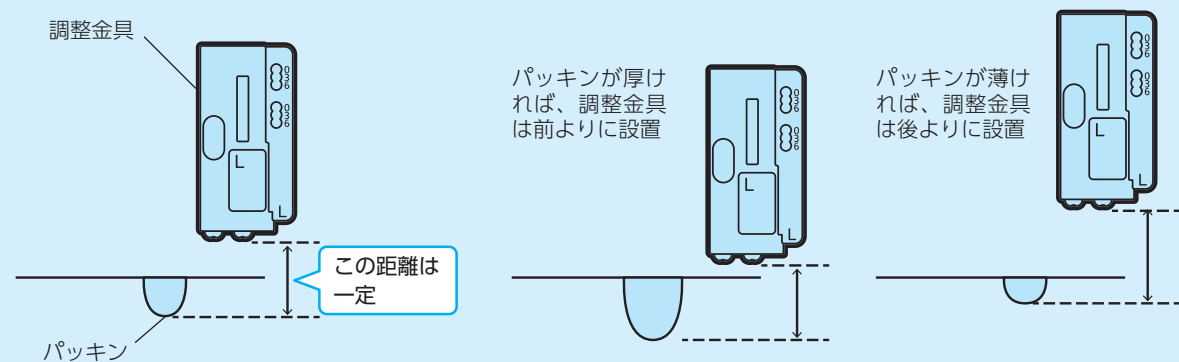
【図 6】



【図 6】

② パッキン厚みと調整金具の位置関係のイメージ

【図 7】



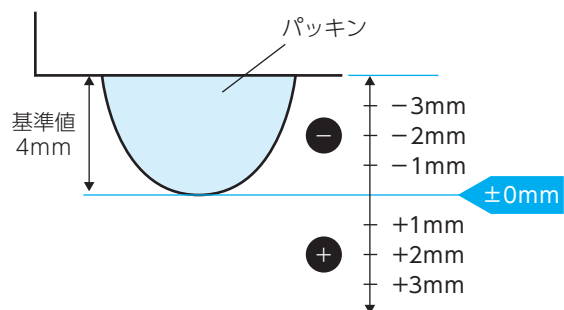
【図 7】

※ イラストはイメージです。実際の比率とは異なります。

B 面材タイプの場合

パッキン厚みに応じて以下のとおり調整します。

【図 8】



① パッキン厚み 4 mm の場合

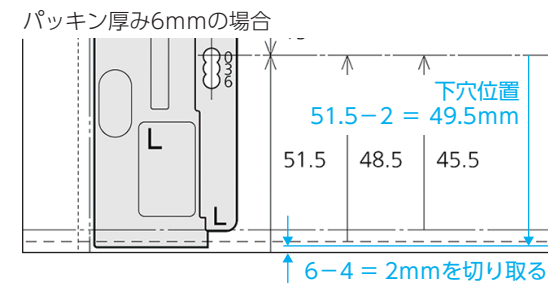
型紙前端は切り取りません（下穴位置：51.5 mm）。

② パッキン厚みが 4mm ではない場合

① 【図 8】で基準値 4mm との差異を確認します。

例) パッキン厚みが
6 mm の場合 → + 2 mm の差異
3 mm の場合 → - 1 mm の差異

【図 9】



※ イラストは型紙の左下部分です。斜めにならないよう、右下部分でも同じように測りましょう。

② ①で確認した差異がプラスかマイナスかで、以下のように調整してください。

－（マイナス）の場合

型紙前端は切り取りません（下穴位置：51.5 mm）。

＋（プラス）の場合

その差異寸法だけ型紙前端を切り取ります。
51.5 mm からその差異寸法を引くと下穴位置の数値に置き換えることができます。……………【図 9】

【注意】

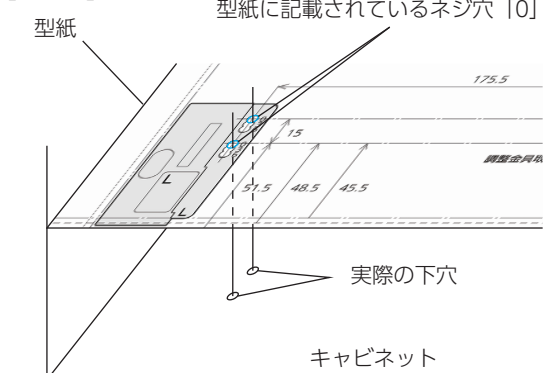
斜めにならないよう左右で測り、左右端に対して垂直に切り取ってください。型紙の前端をカットした場合も「調整金具」の取付位置は変わりません。

2 型紙の固定と穴あけ位置目印のつけ方

転倒防止金具と調整金具を取り付けるための下穴を、キャビネットの天板にあけます。
以下「下穴があいている場合」と「下穴があいていない場合」それぞれの手順で作業を進めてください。

A 収納キャビネットに下穴があいている場合

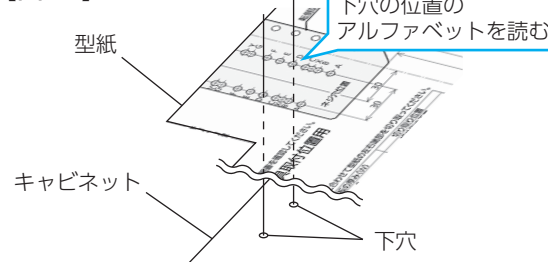
【図 10】



※ イラストは型紙の左下部分です。右下2ヶ所でも同様に位置を合わせます。

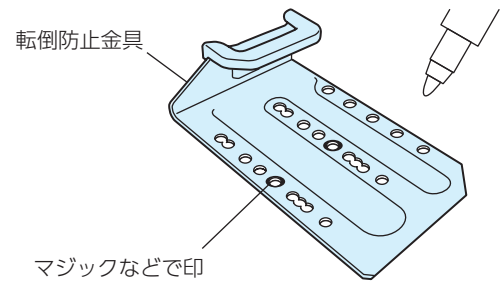
(1) 型紙に記載されている「調整金具 (L) (R)」のネジ穴「O」((L) (R) 各 2 か所) を、キャビネットの下穴に位置を合わせてテープ等で固定します。……………【図 10】

【図 11】



(2) キャビネットの転倒防止金具用ネジ穴の位置が、型紙に記載されている「転倒防止金具取付位置」のネジ穴 A ～ G、X、Y のどれと合っているか確認してください。……………【図 11】

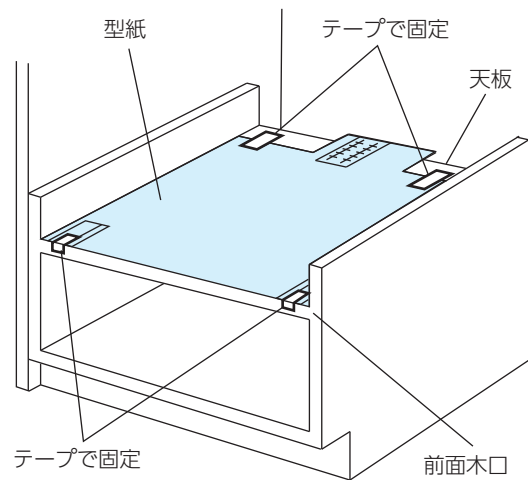
【図 12】



(3) (2) で確認したアルファベットと、実物の転倒防止金具の同じ記号の刻印に、マジック等で印をつけてください。……………【図 12】

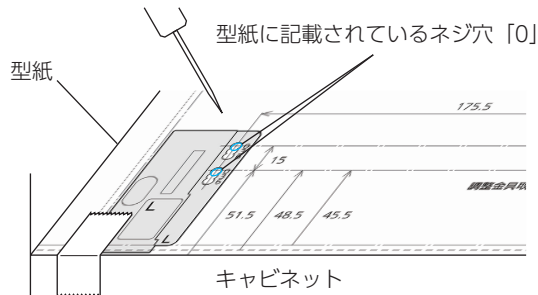
B 収納キャビネットに下穴があいていない場合

【図 13】



(1) 手順 1 で調整した型紙の前端をキャビネットの前面木口に合わせて、型紙が動かないようにテープで固定してください。……………【図 13】

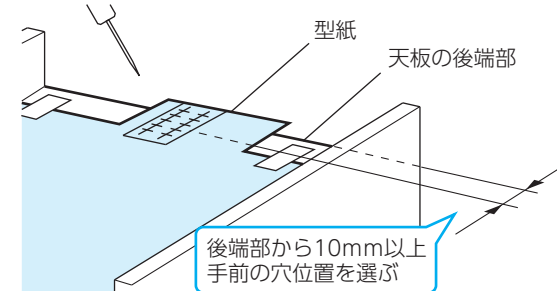
【図 14】



※ イラストは型紙の左下部分です。右下2ヶ所でも同様にキリやポンチで印をしてください。

(2) 型紙に記載されている「調整金具(L)(R)」のネジ穴「O」((L)(R)各2ヶ所)の中心に、キリまたはポンチで目印をつけてください。……………【図 14】

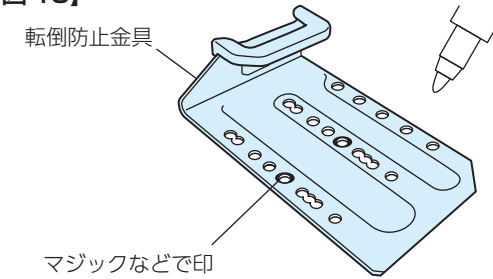
【図 15】



(3) 型紙に記載されている「転倒防止金具取付位置」のネジ穴 A ~ G、X、Y の中から、天板の後端部より 10mm 以上手前に位置するネジ穴を選びます。選んだネジ穴(左右2ヶ所)の中心に、キリまたはポンチで目印をつけてください。……………【図 15】

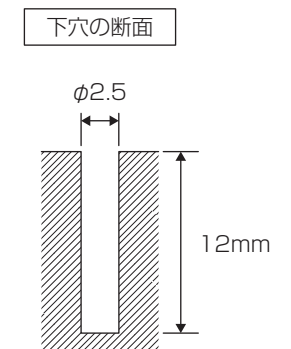
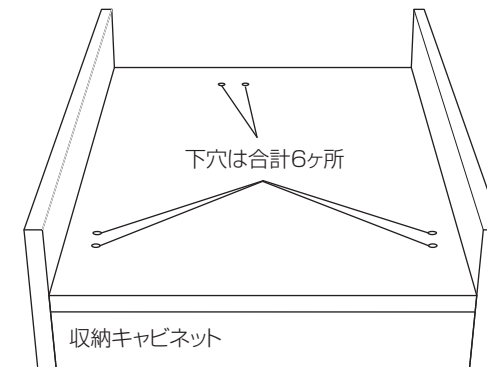
また、転倒防止金具の同じ記号の刻印にもマジック等で印をつけます。……………【図 16】

【図 16】



(4) 型紙を外して、(2) と (3) でキャビネット天板につけた目印位置に、 $\phi 2.5$ 、深さ 12mm の穴を精度良くあけてください。……………【図 17】

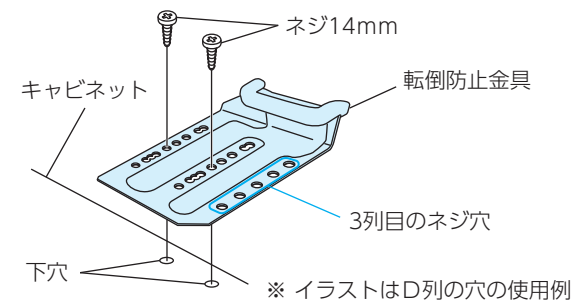
【図 17】



3 転倒防止金具の取り付け

以下の手順で、転倒防止金具を取り付けます。

【図 18】



(1) マジック等で印をつけた記号の穴を使い、2本のネジ 14mm(同梱)で転倒防止金具を固定します。……………【図 18】

万ーネジが締まらなくなった場合は、予備のネジ 14mm で3列目のネジ穴もネジ止めしてください。

【注意】

ネジは必ず手で締めてください。空回りを起こすおそれがあるので、電動ドライバーは使用しないでください。

4 調整金具の取り付け

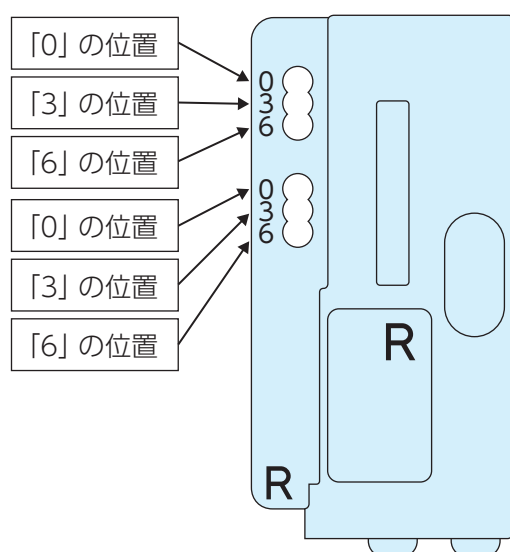
以下の手順で、調整金具を取り付けます。

- (1) 面材タイプの場合とパネルタイプの場合で、ネジの取付位置が異なります。以下の要領で取付位置を確認してください。……………【図 19】

【注意】

取付位置を間違えるとキャビネット前面と本機の前面が揃いません。

【図 19】



面材タイプの場合

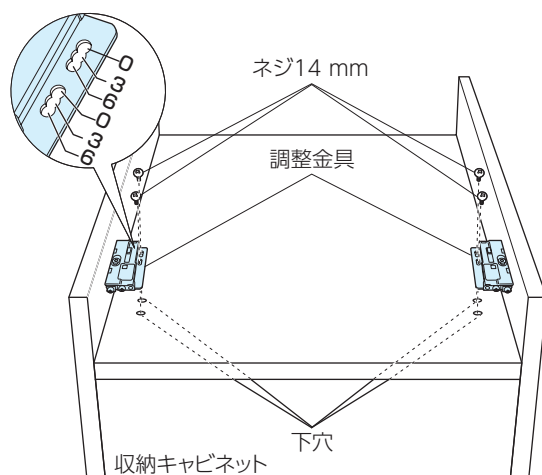
- (1) 面材の厚みによって下記の取付位置になります。

面材の厚み	ネジ固定穴位置
15.5 mm以下	「6」の位置
15.5 mmより大きく 18.5 mm以下	「3」の位置
18.5 mmより大きい	「0」の位置

パネルタイプの場合

- 「0」の取付位置を使います。

【図 20】



- (2) (1) で確認した取付位置を下穴に合わせて、調整金具 (L) (R) をそれぞれ 2 本のネジ 14mm (同梱) で固定します。……………【図 20】

【注意】

ネジは必ず手で締めてください。空回りを起こすおそれがあるので、電動ドライバーは使用しないでください。